

目次

創刊に寄せて

- 大宮法科大学院大学ローレビューへの期待 3

大宮法科大学院大学学長 住吉 博

論説

- 法人代表権の制限と第三者の善意——再論 7

——最判昭和60年11月29日を契機として——

小林一俊

- 行為者の属性としての常習性概念の問題性 21

——一判例を素材として——

中島広樹

- 「副検事」制度の成立と課題 41

新屋達之

- 誤振込みと財産犯の成否について 75

上田正和

- 競争法における抱き合わせ規制と統合製品の評価 93

隅田浩司

翻訳

- クリニック環境で奉仕することによっての学び 111

——専門化が社会正義と技能訓練にもたらす効果——

アントワネット・セディロ・ロペス (Antoinette Sedillo LOPEZ)

訳・住吉 博